

# 甚平ロンパースの作り方

※この作り方は、以前ブログで紹介したものを印刷用にまとめなおしたものです。



子どものために引いた、背中に縫い目のない甚平ロンパースです。

大体80サイズを想定していますが、この写真の着用者は72cm 8.6kg(9ヶ月)で、一年後(82.7cm 9.6kg)も着用できました。



## 【材料】

布地 (リップル (サッカー) ・しじら等。ダブルガーゼでも作れますが、初心者には不向き) 110cm幅90cm～ (柄あわせが必要な場合は多めにご用意ください)

ドットボタン・スナップボタン等 5組 (股下用)

コールゴム (4コールまたは6コール程度) 40cm程度 (伸縮率とお子様の太ももによる)

しつけ糸等

## 作り方

### 1.型紙を用意し、芯を貼り、布地を裁断します。

荒裁ち（型紙より5mm程度大きめに裁断）し、芯を貼ってから裁断するパーツ

- ・前身ごろ（布地の厚みにより不要）
- ・マチ見返し（写真では見返し）

※ここでアイロンを消さず、裁断後のアイロン工程に備えます

<用意するパーツは7つ>

**前身ごろ**（左右対称 2枚）

**後ろ見ごろ**（1枚）

**袖**（2枚）

**結び紐**（4本）

**後ろマチ**（写真では持出し。1枚）

**マチ見返し**（1枚）

**衿**（写真では2枚になっていますが、わでとり、1枚必要です。

幅が足りない場合は写真のように縫い代を足し、後ろ中心で接いでもOKです）



裁断時、合印に2～3mmノッチ（合印）としてハサミ等で切れ込みを入れておきます。

→結び紐と袖口側を除く、「わ」で裁断した部分（両サイド）と、結び紐挟み込み位置

### 2. まとめてアイロンをかけます。

前身ごろ下部分（芯を貼った部分）は三つ折り

結び紐は、長辺は一度半分に折ってアイロン、

広げたら両サイドから折り目に合わせアイロン

短辺の一方も1cm折り込んでアイロン。

※短辺を折って厚みが増した縫い代は、

カットして整理すると

縫いやすく見た目もきれいです。

写真にありませんが、衿も縫い代を折って

さらに出来上がりに折ってアイロン。



### 3. ロックミシンまたはジグザグミシンをかけます。

袖口、マチ見返し（縫い代なし側）にロックミシンまたはジグザグミシンをかけておきます。

ここで行うのが面倒な方は、脇の縫い合わせまで終わった後でも構いません。



#### 4. 結び紐を縫い、マチにマチ見返しをつけます。

紐にL字にコバステッチを入れます。  
短辺を折った側にステッチを入れ、  
折っていない側の短辺にはステッチを入れません。  
L字ではなく、お好みでコの字でもOKです。  
写真は糸を切らずにまとめて4本縫ったところ。



続いて後ろマチとマチ見返しを中表に重ね、縫います。  
縫い代のカーブ部分はV字にカットしておくとしっくり仕上がります。  
縫い代を超えて切らないよう注意してください。



#### 5. 後ろ見ごろに後ろマチをつけます。

ここは縫いにくいと思いますので、  
しつけをかけて作業を進めましょう。

しつけ縫いをしてからミシンで縫い合わせ、  
ロックミシンかジグザグミシンで  
布端を処理します。  
そのとき、変なしわが寄らないように  
注意してくださいね。



※この時はまだ後ろマチとマチ見返しを表に返して形を整える必要ありません。

memo

## 6. 前身ごろ・後ろ見ごろ・袖を縫います。

前身ごろと後ろ見ごろを中表に合わせ、肩を縫い合わせ、ロックミシンかジグザグミシンで布端を処理します。

肩の縫い代を後ろ見ごろ側へ倒し、袖を縫います。（肩と袖中心が合います）



## 7. 肩あげと脇を縫います。

着用者が身近にいらっしゃる方は、無理してここで肩あげを縫わず、最後に試着させながらお好みにつまんで縫うのも良いと思います。

見ごろの表に肩あげの仕上がり線をチョークや消えるペン等で入れます。

お子様の体格により、適宜幅を変更してください。

先ほど引いた線どうしを重ね合わせて縫い始め・肩・縫い終わりにピンを打ちます。

写真は表から見ています（表から縫います）縫ったらタックを袖側に倒します。



脇を縫い合わせます。

中表にして、袖下、前後の脇を合わせます。

結び紐をそれぞれ合印に挟み込みますが、この時、内側と外側、どちらに紐を出すか確認して下さいね。仮止めしておくとも縫いずれしないので、初心者さんはミシンか手縫いでとめておくことをお勧めします。

お好みでピスネーム等はさむのも良いと思います。

袖下から脇を続けて縫い合わせ、ロックミシンかジグザグミシンで布端を処理します。

## 8. 足ぐりの端を処理します。

ここで、手順3で処理していなかった方は袖口、マチ見返し（縫い代なし側）にロックミシンまたはジグザグミシン。

続いて、足ぐりにもジグザグミシンまたはロックミシンをかけます。



足ぐりは写真のように、前みごろの三つ折り部分を二つ折りにして（1つ開いて）マチ見返し部分も開いて（二つ折りせずに）ジグザグミシンまたはロックミシンをかけます。

足ぐり部分を出来上がりに(1.5cm) 折り上げ、アイロンをかけます。後ろマチの見返しも、写真のように折ります。縫い代の余分なところはカットしておくとう仕上がりが綺麗です。端はやや伸ばしぎみにクセをつけるとスッキリ縫えます。



memo



## 9. 足ぐりにゴムを入れながらぐるっと縫います。



ゴムの長さは100円で売っているような柔らかくて非常に伸びの良い4コールなら片足20cm程。ゴムの種類やお子様の太ももの太さにより、もう少し長めに設定したほうがいいかもしれませんが、入れるゴムとお子様の太ももを見て長さを決めてください。

縫い始めと縫い終わりはあくまでも参考です、逆から縫ってもOKです。折った端部分をなぞっていきますが、ゴム止まりは細かい針目でしっかりゴムを縫いとめます。

縫い終わるとこのようになります。



## 10. 衿をつけ、袖口を縫います。

衿と身頃を中表に合わせて縫い合わせます。  
この時、一方の結び紐を縫いこみます。

縫代を衿側に倒し、裏の衿の縫代を折り、しつけ縫いをします。  
この時、もう一方の結び紐を合印に合わせて挟み込みます。

しつけではなく、手まつりでもOKです。

縫い目が目立たないように、表から衿と身頃の間を縫います（落としミシン）

袖口を1.5cm折り上げ、縫います。  
覗き込むように縫うと縫いやすいです。



## 11. ボタンをつけます。

写真のようにボタンをつけます。  
金属でもプラスチックでも手縫いでもOK



←留めたところ



完成です。おつかれさまでした！！

